

# 日本ジオパーク認定審査が始まりました！

八峰白神ジオパーク構想は、今年度中の日本ジオパーク認定に向け活動をしています。認定されるには日本ジオパーク委員会による審査に合格しなければいけません。その審査が始まっています。

## 認定までの流れ

日本ジオパークに認定されるのは、①優れた地形・地質遺産を持ち、②ジオパークを運営する組織・体制が確立されており、③「ジオ」に関する保全・研究・教育・普及活動やジオツアーを既に行っている地域です。

他の地域では、湯沢（秋田）、箱根（神奈川）、銚子（千葉）、伊豆半島（静岡）が今年度の審査に臨んでいます。

☆認定審査は次のような流れで行われます。

審査	開催時期
申請書提出・書類審査開始	4月25日
公開審査	5月20日
現地審査	8月1日、2日
認定結果の発表	9月



公開審査の様子(幕張)

審査過程は、まず申請書を提出するところから始まりました。地域の特徴や活動について記載したのですが、その内容は地質だけでなく、動植物を含む自然、人々の暮らしなど多岐に及びます。申請書は約30ページ、添付書類は約20ページと提出書類の合計は約50ページにもなります。まずこれらの書類が日本ジオパーク委員会によって審査されます。

続いて公開審査ですが、これは去る5月20日に千葉県・幕張メッセ国際会議場にて行われました。地域の代表者が日本ジオパーク委員会や一般聴衆の前で、それぞれのジオパーク構想の特徴や取り組みを発表します。当地域では町長が「白神山地の恵みに生きる」と題した発表を行いました。海岸部と白神山地の地質的関係性、白神山地が高いことによって生まれる恵みによって八峰町民が活かされているということ等を説明しました。200名を越す超満員の会場からは拍手が起きたり、笑いに包まれる場面があり、終始和やかな雰囲気の中10分間の発表時間が過ぎました。

発表後には日本ジオパーク委員会の方々から、今後の活動を進めていくうえで参考となる質問・意見をいただきました。

## 次は現地審査

さて、こうして公開審査は終了したわけですが、ほっとするのも束の間、8月1～2日に現地審査が行われます。3名の委員が八峰町を訪れ、「ジオサイト」と呼ばれる主な見どころや関連施設などを見学し、ジオパークとして実際にどのような活動が行われているかを調査します。実際に現地を調査されるわけですから、ごまかしは通用しません。ここが正念場です！

以上の書類審査・公開発表・現地審査、この3つにより審査が行われ、9月には認定結果が発表されます。秋田県では昨年度、男鹿半島・大湯ジオパークが日本ジオパークに認定されました。今年度は、美の郷ゆざわジオパーク構想と八峰白神ジオパーク構想が審査に臨んでいます。県内の同志として共に合格し、男鹿半島・大湯に続きたいと思っています。

八峰白神ジオパーク推進協議会 事務局

# 第五回ジオパーク国際ユネスコ会議に出席

## 世界各国のジオパーク関係者が参加

5月12日～15日にかけて第5回ジオパーク国際ユネスコ会議が長崎県島原市で開催されました。

貴重な地形や地質を認定する「世界ジオパーク」の関係者や研究者ら約600人が、31の国・地域から参加し、研究報告や会議が行われました。

また、一般市民向けのイベントでは、地元の島原をはじめ九州から集まった子どもたちによる発表の他、ゆるキャラによるイベントや物産展等が行われました。延べ2万人以上が参加し、会場周辺は熱気にあふれていました。



会場となった島原復興アリーナ

## 初の国内開催

同会議は2年に1度開催され、これまでに中国・北京（2004）、北アイルランド・ベルファスト（2006）、ドイツ・オスナブリュック（2008）、マレーシア・ランカウイ島（2010）で開催されており、5回目となる今大会が日本で初めての開催となりました。地球科学、環境保全、観光、地域経済、教育、ジオパークの運営組織など様々な分野の発表が行われ、貴重な大地の遺産の保護、研究、そして持続性のある社会発展などについての討議が行われました。

## 八峰白神からも参加

世界各地のジオパーク関係者が集うなか、八峰白神ジオパーク推進協議会からも会長・ジオパークガイド・事務局の3名が出席しました。

各分野の会議に出席し、世界のジオパークの情勢について多くを学ぶことができました。ジオパークは世界でも先進的な取り組みであるため、①活動内容について理解を得ること②地域住民に参加してもらうこと、この二つについては各地で努力と工夫を重ねていることを強く感じました。

また、当協議会ではパネル展示を行い、八峰白神ジオパーク構想のPR活動を行ってきました。国内外の方々と交流をしてみると、ほぼすべての方が白神山地を知っており、世界遺産の知名度の高さに改めて気づかされました。この世界に知られる白神山地をさらに深く理解してもらい、楽しんでもらえるよう、ジオパークの活動も継続していかなければいけないと感じました。

## ジオパークの役割

ご存知のとおり日本は、地震・津波・火山噴火・地滑り・洪水など自然災害の非常に多い地域です。東日本大震災は記憶に新しいと思われませんが、今大会の会場となった島原も過去に火山活動による大きな被害を受けています。

自然は美しい景観を与えてくれるだけでなく、ときには大きな災害を引き起こします。被害を軽減するための備えとして、地球・自然を理解しておくことはとても重要なことです。ジオパークでは、地球・自然を身近に感じ理解してもらえ、防災に貢献できると考えています。

今大会では、このような災害に対するジオパークの役割のほか、自然資源の管理・保全、組織づくりなどについて宣言した「島原宣言」が採択されました。日本ジオパーク委員会のホームページから「島原宣言」全文を見ることができます。またジオパーク国際ユネスコ会議のホームページも開設されていますので興味のある方はぜひご覧ください。



パネルで当地域を紹介



八峰白神ジオパーク推進協議会 事務局